

いつもお世話になっております。
今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。
次から次へと台風がやってくる大変な気候です。
被害にあわれた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

会社の近くに、東京から移転してきたカレー屋さんがオープンしました。
玉ねぎの水分だけでカレーを作られており、淡路島産の玉ねぎを使いたいということも大阪に移転した理由のひとつだと伺いました。保存料・添加物を使わず、スパイシーだけど少しも辛くない優しいカレーを出すお店です。
そのカレー屋さんのすぐ脇、ビルの谷間のひっそりとした場所に「坐摩神社」という小さな神社があります。神功皇后の創建とされ神話の時代からあるようですが、こちらは日鎮座地で、現在は2キロほど離れた本町駅の近くに社殿があります。秀吉が大阪城を築城する際に神社と氏子を本町に移したそうです。

カレー屋さんと坐摩神社や神功皇后の話題でひとしきり盛り上がり、今までは素通りしていたこちらの神様に興味が出てきて、調べてみました。

「坐摩」とかいて「いかすり」と読むこの神社は「生井神」「福井神」「綱長井神」「波比祇神」「阿須波神」の5柱が御祭神で、「坐摩神」と総称します。神武天皇が宮中に祀ったのが起源で「居住地を守る」という意味の「居所知（いかしり）」が語源という説もあるそうです。

5柱はそれぞれ「生命力のある井戸水の神」「幸福と繁栄の井戸水の神」「深く清らかな井戸水の神」「屋敷神。庭の神」「足場・足下の神。足の神であり旅の神」として、宮中の敷地を守る神々とされています。

一瞬、「水の神がなぜ3種類も??？」と思ったのですが、「生命力・幸福と繁栄・浄化、守護・地盤と行動力」・・・よく見れば、なんとという万全なラインナップでしょう！！

人の体は魂の入れ物・魂の宮殿だという考え方があります。この宮殿を守り活かすためにも、自分の心の中に坐摩の神様たちが居らっしゃれば素晴らしいなと思いました。疲れたり元気が出なかつたりするときには、自分の中の神様にお力を借りるのです。我ながらナイスアイデアです。

「自分の中に神様」という発想を怪訝に思われる方も、セルフケアとしてこれらの力が「足りなくなってきた」と感じた時には、体と心のメンテナンスを意識すると良いのではないかと思います。どうか。

朝晩はめっきり涼しく過ごしやすくなってホッとしたような気持ちと、夏が終わってしまったという寂しい気持ちが半々です。

皆様も、夏の疲れが出ません様、どうぞご自愛くださいませ。



ビルの谷間にひっそり鎮座する坐摩神社
祠の手前には、神功皇后鎮座石
ステンレスの柵に覆われています。



カレーはオニオンサラダ付き